

第22回

大分県民芸術文化祭

文化ではぐくむ令和のこころ

令和2年度
記録集

[illegible]

ポスターデザイン
本分県立芸術文化専門学校 2 年 デジタルデザインコース 渡辺悠希

大分県民芸術文化祭は大分の秋を彩る県下最大の芸術文化の祭典です。
「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」を継承するレガシー枠行事
県をはじめ、様々なイベントが開催されます。

主 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
事務局：〒870-0029 大分市高砂町 2-33 B1F NPO 法人大分県芸術内
TEL097-536-0522 FAX097-536-6188



【開募行事】
 OITA 歌舞伎 vol.2 坂城主「関千代」
 ～戦国に咲いた百合～ / ichiko グランシアタ
 9月22日(火・祝) 14:00～

【開催行事】
四季彩おおいのライブ〜風と大地の詩 ふるさと 2020〜
/ ichiko 音の森ホール
11月28日(土) 14:00〜

【 演 美 展 】
第 56 回 大分県美術館 / 大分県立美術館
日沖彫工展 9 月 16 日 (水) ~ 9 月 27 日 (日)
書道展 10 月 2 日 (金) ~ 10 月 11 日 (日)

【実行委員会行事】
座談会「コロナとアート」
/ 大分県立美術館 1 階アトリウム
会費 2,000 円 (税別) 14:00

【異分野交流等新たな展開創出行事】

② 紅葉 芝居 地蔵 妖怪妖怪 一点も漏れず
 ③ 生きる～春は咲いて 音楽は続く～
 第 52 回ジュニア大賞 (上映大会)
 第 15 回ジュニア柳川大会
 第 54 回大分県俳句大会 (上映句会)
 第 56 回大分県短歌コンクール (上映大会)
 第 65 回土讃展
 ARTPLAZA 10/4 建築事業 2020
 第 8 回国境大分作品展
 第 55 回記念堂光栄会
 大分アスロンパークオーストラ
 第 15 回記念堂期間満了「恒命」
 大分県民会館 4F 国境大分作品展

【次代を担う人材育成行事】

大かっ子芸術文化祭
成瀬政博映画展
第14回春陽会九州研究会展
グランツ美術館「みんなでハロウィン」
第73回大分県英文通中大会創刊
平和市民公園開園30周年
大分県産業発展委員会記念会
にほんブログ村（伝統文化編）

【5つの芸術文化ゾーン内の連携行事】

- ⑤ 「歌う！おおいた」 祭典 2020
～就踊りださ！全員集合！～
- ⑥ 新卒生の神楽舞

第 56 回 大分県美術館巡回展
第 62 回 日竹赤秋の文化祭

今回はコロナウィルスの影響で行事の変更が予想されます。最新の情報は、本館団体にご確認ください。

ポスターデザイン

大分県立芸術文化短期大学2年 ビジュアルデザインコース 渡辺弥咲

CONTENTS 目次

ごあいさつ

大分県民芸術文化祭実行委員会会長 戸口勝司	01
大分県知事 広瀬勝貞	02

芸術文化フェスティバル

開幕行事

OITA 歌舞伎 vol2 姫城主「闇千代」～戦国に咲いた百合～	03
----------------------------------	----

閉幕行事

四季彩おおいのライブ「風と大地の詩 ふるさと2020」	04
-----------------------------	----

県美展

第56回大分県美術展	05
------------	----

実行委員会行事

座談会「コロナトアート」	06
--------------	----

異分野交流等新たな展開創出行事

📌 「虹 夏草 泥亀 佐藤俊造 一点美術展」	07
📌 生きる～書は唄い 音楽は描く～	07
📌 第19回大浪曲大会（浪曲おたのしみ会）	08
第52回大分県川柳大会・第15回ジュニア川柳大会（誌上大会）	08
第54回大分県俳句大会（紙上句会）	08
第56回大分県短歌コンクール（紙上大会）	09
第65回蒼土展	09
ARTPLAZAU_40 建築家展2020	09
第8回国展大分作家展	09
第55回記念豊光会展	10
大分チェンバーオーケストラ第15回記念演奏会「宿命」	10
大分交響楽団第43回定期演奏会	10

次代を担う人材育成行事

大分っ子芸能文化祭	11
成瀬政博原画展	11
第14回春陽会九州研究会展	11
グランツ美術館「みんなでハロウィン」	12
第73回大分県高文連中央演劇祭	12
平和市民公園能楽堂30周年 大分県能楽連盟発足記念会	12
こども体験パーク	12

地域文化フェスティバル

5つの芸術文化ゾーン内の連携行事

「歌う！おおいた」祭典2020～盆踊りだヨ！全員集合！～	13
耕す里の神楽舞 高千穂の夜神楽 × 御嶽神楽	13
第56回大分県美術展 巡回展	14
第62回臼杵市秋の文化祭	14

参加行事

- 文芸 ● 美術 ● 音楽 ● 舞踊 ● 演劇 ● 児童文化 ● 総合
- 地域文化 ● 文化一般
- 大分県立美術館 ● (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団 ● 大分県立歴史博物館
- 大分アジア彫刻展実行委員会 ● 東京2020オリンピック聖火リレー大分県実行委員会

資料

第22回大分県民芸術文化祭の概要	19
新聞記事	20
大分県民芸術文化祭開催要綱	28
令和2年度大分県民芸術文化祭実行委員会・企画部会委員名簿	29

ごあいさつ

全体テーマ「文化ではぐくむ令和のこころ」のもと行事募集を開始した第22回県民芸術文化祭は、春先から広がった新型コロナウイルスの影響で当初予定の行事も中止や延期が相次ぎました。

開幕行事OITA歌舞伎 vol.2 姫城主「閨千代」～戦国に咲いた百合～でも、コロナ禍の会場閉鎖による練習不足などで公演ができるか心配した時期もありましたが、9月22日、コロナ対応の会場に多くのお客様をお迎えすることができました。翌23日には、実行委員会主催の座談会「コロナトアート」を第56回大分県美術展が開催されている県立美術館のアトリウムで開催。菅章大分市美術館長を座長として県内外でご活躍の4名の皆さんに出演いただきコロナ禍でのご苦勞、今後への展望を伺いました。

開幕行事「四季彩おおいたライブ～風と大地の詩 ふるさと2020～」は、映像と舞踊、生の演奏で大分県の自然の魅力と芸術文化の魅力を再発見する映像詩を公演しました。運営面では密を避けるため会場の入場制限を行う一方、場所と時間の壁を超えて舞台をライブ配信で提供するなど、コロナ禍がこれまでにないアプローチへの道を開いてくれたと言えるかもしれません。実行委員会でも、HPに新たなアプローチを取り入れスマートフォンに対応した画面構成、文化祭行事の動画へのリンクなど、より使いやすいものへリニューアルしています。ぜひご活用ください。

さて、今回の文化祭の最終的な行事数は109でした。参加者は約1万2千人、来場者約15万人。例年の数には及ばなかったものの、コロナ禍の中で充実した魅力的な行事が開催され、これだけの皆さんが芸術文化に参加したり、鑑賞していただけたことは意義深いことと存じます。これも、ひとえに大分県や関係の皆様方の芸術文化行事に対するご支援の賜物と心より感謝を申し上げます。

これからもコロナに負けず新たな文化祭を創って参りたいと存じます。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



大分県民芸術文化祭実行委員会
会長 戸口 勝司

ごあいさつ

大分の秋を彩る県内最大の芸術文化の祭典、第22回大分県民芸術文化祭が、「文化ではぐくむ令和のこころ」をテーマに各地域で盛大に開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響が全国的に続く中、安全面に十分配慮しながら県民の皆さんに芸術文化に親しんでいただくためにはどのようにすればよいか、ウィズコロナ時代の芸術文化行事のあり方を模索しながらの開催となりました。

開幕行事は、BUNGO新風土記公演実行委員会による「OITA歌舞伎vol.2 姫城主「闇千代」～戦国に咲いた百合～」でした。実行委員会が直前まで安全な開催について腐心する中、コロナ禍で舞台に立てる喜びに満ちた出演者の熱演に、観客から惜しめない拍手が贈られました。

また、閉幕行事は、大分県の自然と芸術文化の魅力を再発見する映像誌「四季彩ライブ～風と大地の詩 ふるさと2020～」でした。コロナ禍の様々な制約の中で生まれた映像と音楽・舞踊のコラボレーションは、芸術文化の新たな可能性を感じさせるものとなりました。

このほか、「異分野交流等新たな展開創出行事」「時代を担う人材育成行事」「5つの芸術文化ゾーン内の連携行事」などの事業区分ごとに様々な行事が開催されました。また、実行委員会行事として「コロナトアート」をテーマに、大分のアーティスト4名によるウィズコロナの現場の声を聞く座談会も開催されました。

この期間中に、ベートーヴェン生誕250年に因んだ演奏会や、子どもたちの伝統文化体験会など、県内各地で109行事を開催できたことは、コロナ禍でも文化の香り高いクリエイティブ大分の実現と、本県の文化力向上に大きくご貢献いただいたものと感謝しています。

既に次の文化祭に向けて、多くの参加団体の皆様に準備を進めていただいていることと思いますが、県民の皆様には、県内のあらゆる地域で、県民の誰もが参加し楽しめる、大分らしさあふれる文化祭の開催に、今後ともご協力を賜りますようお願いします。

結びに、大分県民芸術文化祭の開催にご尽力いただきました実行委員会をはじめ、参加団体や県民の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、あいさつとします。



大分県知事

広瀬 勝貞

OITA 歌舞伎 vol.2 姫城主「闇千代」～戦国に咲いた百合～

開催日時：9月22日（火・祝）14:00～17:00

会場：iichiko グランシアタ

主催：BUNGO新風土記公演実行委員会

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：793人

参加者数（主催者人数）：68人

豊後の歴史を題材に、和太鼓、洋舞、日舞、剣舞、音楽などの異なる部門を取り込んで制作した演劇の公演。全国的にも珍しい女城主「立花闇千代」の生涯を歌やダンスを盛り込み、衣装・舞台装置も華やかな演劇作品とした。実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の対策のため、客席を1/2に減らし、換気・消毒に努めた。



開場前



コロナ対応の客席風景

〈あらすじ〉

戦国時代。雷神と恐れられた豊後の名将立花道雪。そのひとり娘闇千代は幼くして立花城の城主となる。西国一の美姫と歌われた闇千代は武芸にも秀で自ら鉄砲隊を結成し城の護りにあたった。そんな闇千代が婿に迎えたのが豊後の風神高橋紹運の嫡男・統虎、のちの宗茂であった。順風満帆に見えた二人の生活にやがて訪れる驚り。闇千代、宗茂の行く末は・・・!?

立花闇千代	小野ひとみ	闇千代少女時代	りり
立花宗茂	林憲吾	宗茂少年時代	日名子太一
立花道雪	森正剛		
仁志道雪の妻	山口愛子 ほか		

脚本・演出	佐倉吹雪
舞踊構成・振付	荒金ゆかり
和舞踊振付	花柳嘉恵富
殺陣振付	石田翔祥
音楽	西野ナオト、仙波歌月
衣装	竹林れいこ



闇千代と姫鉄砲隊



うさぎ達の歌とダンス



道雪の最期

当日のアンケートから（回答枚数222枚／入場793人）

○印象に残った場面やセリフ

- * 太鼓、鷹狩、殺陣
- * 芝居やダンスなどパフォーマンスにとっても感動しました。
- * 闇千代やいろんな人の演技がすごくてよかったです。楽しかったです。
- * 闇千代と統虎の鷹狩の後の場面が印象に残った。また観たいと思いました。再演があると嬉しいです。
- * コロナで練習は大変だったでしょう。素晴らしい舞台を見せていただきました。若い人々による大分の演劇に期待しています。脚本、演技、踊りいづれも思ったよりレベルが高く感動しました。
- * とても素晴らしい舞台でした。コロナの中で大変だったでしょうが、努力がとても見えました。小萩が亡くなるシーン泣きました。うさぎ達も可愛かった！
- * 皆さん熱演でした。歌声も迫力がありました。最後泣けた。



フィナーレ

四季彩おおいたライブ ～風と大地の詩 ふるさと2020～

開催日時：11月28日（土）14:00～15:30

会 場：iichiko 音の泉ホール

主 催：ライブ・フェスティバル in OITA実行委員会

共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観 客 数：215人

参加者数（主催者人数）：65人

映像と音楽・舞踊のコラボレーション作品。この先再び、劇場で多くの方とお会いできる日を楽しみに大分県の自然の魅力、芸術文化の魅力を再発見する映像詩を舞台に展開。公演はコロナ対応で客席数を制限したため、会場でご覧いただけなかった方に向けてライブ配信を行い、好評だった。

風と大地の詩 ふるさと2020

- 1 章 水の先へ、彼方へ
- 2 章 万象の彩 やどり
- 3 章 やがて静寂の中に
- 4 章 光に舞う、いのち



1 章 水の先へ、彼方へ



2 章 万象の彩 やどり



3 章 やがて静寂の中に



4 章 光に舞う、いのち



フィナーレ



【出 演】

バイオリン 朝来桂一
チェロ 宇野健太
フルート 小野未希
篠 笛 大村ひな
少 女 岩矢紗季（写真）
モダン 後藤直子、橋本英子、川口倫恵、土屋友、木戸莉恵
バレエ 長野知夏、長野沙織、児玉彩加
日 舞 花柳笹良志、花柳龍知郎、花柳知香之祥
日 舞 花柳裕国匠、花柳奈美志郎、花柳瀧美鈴

【舞台制作】

構成・演出・振付 後藤智江
クラシックバレエ振付 佐藤利英子
日本舞踊振付 藤間次登
音源制作 赤嶺洋一
作 曲 河野敦朗
衣 裳 永田好弘

【舞台技術】

舞台監督 木村勇仁
音 響 赤嶺洋一、日浦健
照 明 後藤靖、赤池剛、松本和彦、後藤良二
大道具 首藤尚志、岩川幸造
映 像 田崎智博、泉龍太郎

【映像制作】

監督・編集 浮田俊一
撮 影 佐藤謙二、小野浩則
撮影助手 高木鈴風、高橋悠、篠原諒
照 明 中村忠孝、中島宏明、河野唯、森崎桃華
編集補佐 坂本浩一、牧孝洋
スタイリスト 小原乃里子
映像効果 高橋大地
CG制作 新庄章史
映像資料提供 OBS 大分放送

【協力】

由布市庄内町観光協会、大分天文協会、日田市観光協会、豊後大野市清川町六種地区の皆様
文殊仙寺（国東町）、東光寺（宇佐市）
長久寺（大分市）、大分高等学校
富貴寺（豊後高田市）、佐伯市鶴見振興局
戸口勝山、大分県照明・音響・舞台事業者協同組合

当日のアンケートから（回答枚数100枚／入場215人）

- *コロナ禍での公演であり、映像と舞台を組み合わせた内容はこれまでにない試みであり、面白いと思った。
- *大分って素晴らしい所が多いなとつくづく感じました。演奏と映像ステキでした。
- *映像・生演奏・大分県の日本舞踊・バレエ皆様方のエネルギーを感じました。今回、大分県の四季の中に芸術・芸能は生きている

事を感じた。

- *映像に心打たれ、楽器に心打たれ、バレエ、日本舞踊に心打たれ素晴らしい時間でした。4章ではコロナの終息…明るい未来を感じ、願いました。意欲が出ました。
- *よくぞこの大変な時にこのような素晴らしい舞台を作られたと感激した。

第56回大分県美術展

開催日時：9月16日（水）～10月18日（日）10:00～19:00
金・土曜日は20:00
最終日は日洋彫工 13:00・書道 16:00・写真 15:30 まで

会 場：大分県立美術館（全館）
主 催：大分県美術協会、大分県民芸術文化祭実行委員会、
大分県、大分県教育委員会、
（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団、
大分県立美術館、NPO 法人大分県芸術振、
大分合同新聞社

観 客 数：11,635 人

参加者数（主催者人数）：2,013 人（432 人）計 2,445 人

日洋彫工展、書道展、写真展を左記開催日時で開催した。

今回は各部会とも（コロナ対策）を万全に実施した。日洋彫工では搬入時の館外テントでの検温、出品票記入を行い、作品鑑賞会や授賞式を中止とした。また搬出時の密を避けるため最終日は終了時間を13時までとした。書道は搬入数の事前集約による計画的で円滑な搬入作業を進め、審査は県外からの審査員招聘を取り止め、大分県美術協会名誉会員が審査した。写真は例年一人3点までの出品を一人1点とし、出品数を減らすことで搬入時の混雑を避け、作品鑑賞会を中止した。最終日終了時間は、30分繰上げ片付け作業の円滑化を図った。

第56回大分県美術展

	会 期	出品点数	展示数	入場者数	審査員
日洋彫工展	9月16日（水）～ 9月27日（日）	597	594	6,542	秋田県立美術館長・実践女子大学教授 仲町啓子氏
書 道 展	10月 2日（金）～10月11日（日）	980	972	3,219	書道部会名誉会員 （10名）
写 真 展	10月13日（火）～10月18日（日）	436	436	1,874	蜂須賀秀紀氏 （二科会名誉会員）
		2,013	2,002	11,635	

〈審査風景〉



日洋彫工展



写真展



書道展

〈コロナ禍での搬入・受付風景〉



日洋彫工展 野外受付テント



書道展 搬入受付



写真展 搬入受付

座談会「コロナアート」

開催日時：9月23日（水）14:00～15:30

会場：大分県立美術館 1階アトリウム

主催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：39人

参加者数：12人

大分市美術館館長、菅章氏を座長に迎え、4つのジャンルから大分の若いアーティスト4名を招き、コロナ禍の現場の声を聞いた。芸術文化公演が中止、縮小を余儀なくされる中で、どのように芸術文化活動と向き合っているのか、現実の生活についてや、公的な給付金などの活用について聞く中では、実演者だけでなく、舞台公演を支えるスタッフや関連の業界などを心配する声も上がった。一方でこのコロナ禍でグッと身近になったリモートなどの新しい取り組みについては積極的に活用していきたいとしながらも、客席と舞台の一体感が戻ってくる日を心待ちにする発言が心に残った。

今回はコロナウイルス感染拡大を避けるため入場制限を行なったが、座談会の模様は大分県民文化祭HPから視聴することができる。是非ご覧ください。



座長 大分市美術館長 菅章氏



狂言師 深田博治氏



声楽家 行天祥晃氏



日本舞踊家 花柳龍知郎氏



脚本・演出家 佐倉吹雪氏



「虹 夏草 泥亀 佐藤俊造 一点美術展」

開催日時：11月1日（日）～2021年1月20日（水）
10:00～18:00

会場：日出町 佐藤俊造花の木美術館など
県内110カ所

主催：佐藤俊造展実行委員会

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：3,402人

参加者数（主催者人数）：40人

本展は佐藤氏の作品を県内の美術館や図書館などのパブリックスペース30カ所に一点だけ展示することを想定して企画された。しかし企画は新型コロナの深刻化により全作品のリスト作成からつまづくことになる。ようやく8月、全作品の点検、撮影が始まり企画が動き出す。そうすると飲食店、子ども食堂、民間会社の会議室、公民館、商店、カフェ、神社、駅、個人宅、ホテルなどなど、会場は拡大し続け、会期を1ヶ月延長した。本展はその量だけでなく、作品と会場が響きあい、独創的で質の高い空間を創出した歴史的な展覧となった。その後3月17日から30日、アートプラザ主催で「佐藤俊造の全貌展」を開催した。

佐藤俊造…速見郡日出町の農家に生まれ、若き日にヨーロッパを放浪し東京での美術活動の後、帰郷。以来大分の風土の中で制作を続け、独特な世界観を持つ優れた作品を残したが、惜しくも10年前56歳の若さで亡くなった。



大分県立図書館



日出町 佐藤俊造 花の木美術館

「生きる～書は唄い 音楽は描く～」

開催日時：10月18日（日）14:00～16:00

会場：iichiko 音の泉ホール

主催：PATHMA

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：283人

参加者数（主催者人数）：9人

音楽と書で「鼓動」「躍動」「前進」「遭遇」のテーマを表現するコンサート。

「鼓動」クラシックの音楽にのせて2m×4mのパネル、5mの絹2本にライブで揮毫。

「躍動」快活な曲にのせて2m×4mのパネルにコロナに打ち勝ち強く生きろという思いを込め力強く。

「前進」人生においての喜怒哀楽を繋ぐように、様々な音楽とアクリルボードへの書で思いを伝える。

「遭遇」希望ある音楽にのせて「風」を草原の映像と重ね、未来への希望を届けた。



第19回大浪曲大会（浪曲お楽しみ会）

開催日時：11月28日（土）～11月30日（月）
午前10:30～12:00／午後13:30～15:00

会場：大光寺
主催：全日本浪曲愛好会
共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
観客数：211人（延べ人数）
参加者数（主催者人数）：11人

今回の大会はコロナウイルス感染拡大防止の観点から予定していた文化施設での開催ができなくなった。一旦は中止を考えたが、ぜひ開催を！との声に会場を大光寺に移し、3日間、午前・午後に分けてコロナ対策をしながらの実施となった。プロの浪曲師は参加できなかったが、伝統芸能の浪曲をはじめ日本舞踊、抒情歌、大正琴演奏、マジック、落語、朗読、また県外からのものまねなど、浪曲以外の内容も取り入れ、楽しんでいただいた。終了後はあとからあとからお礼の報告が入り大変好評でした。



第52回大分県川柳大会・第15回ジュニア川柳大会（誌上大会）

募集期間：11月1日（日）～11月20日（金）
主催：大分県俳句川柳連合会
共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
参加者数（主催者人数）：92人（県外6人・県内外会員10人・会員76人）

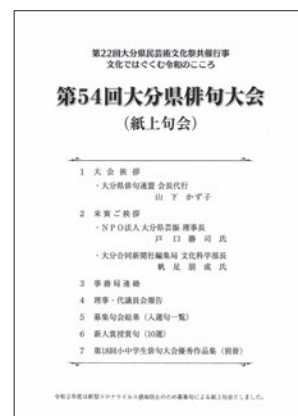
コロナ感染予防の為今年度初めて誌上大会として実施。県内外から92名が参加。残念なことにコロナ禍の関係でジュニアからの投句はなかったが、現状ではやむを得ないことと思っている。課題6題に対して1100の応募句から特選7句を決定した。



第54回大分県俳句大会（紙上句会）

募集期間：6月1日（月）～11月8日（日）
主催：大分県俳句連盟
共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
参加者数（主催者人数）：188人

新型コロナウイルス感染防止のため当日句会中止し、会員の募集句による紙上句会を開催し、11月8日に大会資料を会員に送付し大会に変えた。新人賞表彰、小中学生俳句大会表彰も同様とした。



第56回大分県短歌コンクール（紙上大会）

開催日時：11月15日（日）
主 催：大分県歌人クラブ
共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
参加者数（主催者人数）：7首詠の部 32人／1首詠の部 102人

10月9日（金）まで、7首詠の部と1首詠の部とに分けて未発表歌を募集した。寄せられた作品は作者を伏せた一覧を選者と出詠者に郵送。選歌してもらった。選歌の結果から選者賞、互選賞を決定した。選歌結果は11月15日（日）に応募者全員に郵送、各賞の入賞者には表彰状・楯を郵送した。入賞作品は1月下旬発行の大分県歌人クラブ会報でも報告した。



第65回蒼土展

開催日時：10月21日（水）～11月1日（日）
会 場：別府市美術館
主 催：蒼土会
共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
観 客 数：265人
参加者数（主催者人数）：10人



昭和27年を第1回展として、今回は65回目の作品展示会となる。蒼土展としての統一テーマは無く、各会員がそれぞれのテーマで1年間に制作した新作を発表するというもの。現在会員15名の内、9名及び、賛助出品者1名による、10名の4号～100号までの作品（油彩・水彩・版画・デッサン）56点を展示した。

ARTPLAZA U_40 建築家展 2020

開催日時：11月3日（火・祝）～11月8日（日）
会 場：アートプラザ 2F アートホール
主 催：Oita Architects' Profession（U_40 建築家展 2020 実行委員会）
アートプラザ共同事業体
共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
観 客 数：557人 参加者数（主催者人数）：15人

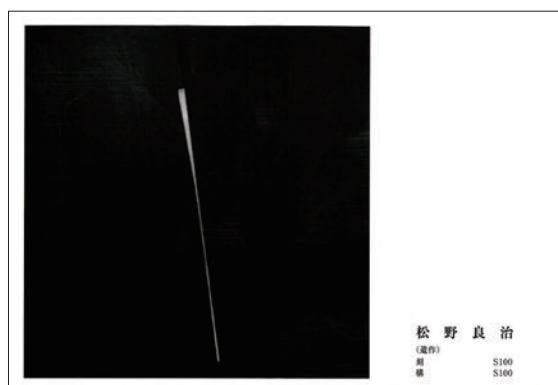


大分市出身の世界的建築家磯崎新氏が手掛けたアートプラザで「市民と建築家が出会い身近に建築文化を感じる場」を目指し九州にゆかりのある40歳未満の若手建築家による合同作品展を開催。11回目となる今回は新型コロナウイルス感染流行により、大きく変化した「距離感」をテーマに展示を行なった。期間中は、感染拡大防止に留意し、多くのご来場をいただいた。また展覧会と併せ、テーマにまつわるオンライントークイベントを開催。会場へ足を運ぶことができない方々に向けても機会を提供できた。

第8回国展大分作家展

開催日時：11月10日（火）～11月15日（日）
会 場：大分県立美術館1階
主 催：国展大分作家展
共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
観 客 数：700人 参加者数（主催者人数）：14人

令和2年3月、開催予定だった第8回国展大分作家展は新型コロナウイルスのため中止となったが、幸いにも11月10日～県立美術館で開催することができた。今年度は200号から100号までの作品およそ30点が展示された。コロナ禍の中でも例年と変わらぬ来場者を迎え、国展をこよなく愛し続けた故松野先生の意志を繋ぐように、例年にもまして気合の入った展覧会となった。



第55回記念豊光会展

開催日時：10月19日（月）～10月25日（日）
 会場：大分県立美術館3階
 主催：豊光会
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：913人
 参加者数（主催者人数）：20人



山崎先生講評

第22回大分県民芸術文化祭事業として、一般社団法人東光会の大分支部豊光会会員19名と客員 日本芸術院会員佐藤哲の近年の具象大作を合わせて、約35点を展示した。今回は佐藤哲氏の作品「富士」の展示、佐藤京子会長の本年日展特選受賞の話題等で盛り上がり、高い評価になった。入場者は最終日こそOPAM 5周年記念イベントで多かったが、やはりコロナ禍の影響で例年と比べ総計913人と減少した。

大分チェンバーオーケストラ第15回記念演奏会「宿命」

開催日時：10月17日（土）18:00～20:00
 会場：iichiko 音の泉ホール
 主催：大分チェンバーオーケストラ
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：295人 参加者数（主催者人数）：70人



〔指揮者〕新通英洋
 〔演目〕ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」
 ショスタコヴィチ：交響曲第5番「革命」

室内オーケストラ（＝小編成オーケストラ）である大分チェンバーオーケストラは第15回記念演奏会として大分で演奏機会の少ない大曲のショスタコヴィチ「革命」に挑戦した。指揮者には国内屈指の人気を誇る新通氏を指揮に迎え、演奏者は当オーケストラでの出演経験を問わず門戸を広げ募集し力を合わせて大曲に挑戦した。来場者には音楽と挑戦する姿を楽しんでいただけたと思う。

大分交響楽団第43回定期演奏会

開催日時：11月8日（日）14:00～16:05
 会場：iichiko グランシアタ
 主催：大分交響楽団
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：553人 参加者数（主催者人数）：出演者 72人／スタッフ 16人



〔指揮者〕森口真司（大分県立芸術文化短期大学教授）
 〔演奏曲〕ヴェルディ：歌劇「ナブッコ」序曲
 チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」
 ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」
 〈アンコール〉 ベートーヴェン：「トルコ行進曲」

独自の新型コロナ対策ガイドラインに従い、入場者の検温、手指の消毒、マスク着用、極力接触を避け、開場時間の前倒し、休憩時間長めにしたほか、演奏中もドアを適宜開放状態に保ち換気を保つなど対策を行った。入場者数は昨年の半分程度であったが1年ぶりの公演が実施できたことに感謝したい。

大分っ子芸能文化祭

開催日時：11月7日(土)・11月8日(日) 9:30～17:00

会場：祝祭の広場

主催：NPO法人ふるさと芸能文化協議会

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：約2,500人

参加者数(主催者人数)：170人(18人)

参加団体：上戸次子ども神楽クラブ、南大分小潮太鼓、馬場子供神楽クラブ、
西寒多子ども神楽、丹溪子ども神楽、小池原子子ども神楽、七瀬子供神楽、
滝尾小学校神楽クラブ、豊饒子ども神楽、日吉子供神楽

特別賛助出演：鷹匠、石橋美里さん、楊志館高等学校法学部(和太鼓)、
七色こんべいとう

コロナウイルスのため当初3月に計画していた会を秋に延期して開催した。ソーシャルディスタンスを守り厳しい管理の下での開催だったが、来場の方々からは称賛の声をかけていただき感激した。今後とも子ども達と共にふるさと大分の歴史・文化を守り、世代を超えて伝統芸能を継承していきたい。



成瀬政博原画展

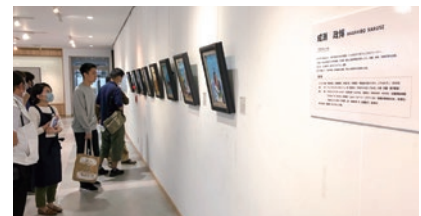
開催日時：10月10日(土)～10月23日(金)

会場：別府大学佐藤義詮記念館(18号館)2階ギャラリー

主催：別府大学司書講習(成瀬政博原画展)

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：87人(原画展会場) 参加者数(主催者人数)：12人



別府大学で毎年開催している文部科学大臣委嘱司書講習において、長きにわたりポスター制作等で尽力いただいている画家・成瀬政博氏の原画展を開催した。展示会初日に予定していた講演会は感染症拡大防止の観点から一般の方の聴講を中止し、本学学生・教職員のみ聴講となった。

【成瀬氏特別講演】令和2年10月10日(土) 13:00～14:30

〔演題〕「本、読むことと、作ること。」

〔会場〕別府大学32号館 大講義室400・500

〔展示数〕別府大学司書講習ポスター(原画)8点・別府大学司書講習ポスター(パネル)10点・週刊新潮表紙絵(原画)11点・週刊新潮表紙絵(複製)4点・別府大学司書講習のあゆみ(パネル)8点、(写真)76点

第14回春陽会九州研究会展

開催日時：10月27日(火)～11月1日(日)

会場：アートプラザ2Fアートホール

主催：春陽会九州研究会

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

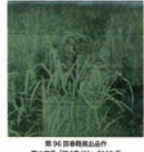
観客数：327人 参加者数(主催者人数)：10人

春陽会は全国17地域に研究会を持ち、全国研究会選抜展、講演会、作品講演会、各研究会展等を実施している。九州研究会は、2007年に(当時＝大分研究会として)春陽展出品者および出品を目指す者によって第1回展を実施して以来、毎年若手作家を中心に大作を発表、若手作家の研鑽の場となっている。第14回展は、出品者は10人と、前回より少なかったが、若手作家の研鑽の結果が表現として現れ始め、充実した内容の展覧会となった。

文化はぐくむ命の場所。第22回大分県民芸術文化祭共催行事

第14回 春陽会 九州研究会展

【会期】2020年10月27日(火)～11月1日(日)
【時間】10:00～17:00(最終日は16:00まで)
【会場】アートプラザ 2階アートホール

荒木 宣男		後藤 詩織
岩本峻太郎		田口 玲子
川野 美華		野村 正剛
草場菜穂子		松本 隆
古閑 良隆		丸岡あすか

第14回春陽会九州研究会展
荒木宣男「緑の森」(油) 33x45cm

グランツ美術館「みんなでハロウィン」

開催日時：10月29日（木）～11月1日（日）
 会場：グランツたけたキナーレ、市民ラウンジ
 主催：竹田市総合文化ホール グランツたけた
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：1,834人
 参加者数（主催者人数）：45人



市民ラウンジでは障害の有無や年齢等を問わず参加できる事前ワークショップで制作した作品を展示する「お菓子がつなぐ“美味しい”出会い～おぼけのハロウィンパーティー～」を開催。また、ハロウィンマーケットで「ハロウィン仮装を手づくりしよう」ワークショップを開催、好評を得た。多目的ホールキナーレでは由布市を拠点に活動する絵本作家・美術家のザ・キャビンカンパニーによる初の映像インスタレーション作品を展示。映像作品と一緒に劇場空間を生かしたクラシック音楽や市民参加のダンスとのコラボを楽しんだ。

第73回大分県高文連中央演劇祭

開催日時：11月7日（土）～11月8日（日）9:50～17:10
 会場：J:COM ホルトホール大分・大ホール
 主催：大分県高等学校文化連盟演劇専門部
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：180人（入場制限のため） 参加者数（主催者人数）：129人



大分豊府高校

高校演劇九州大会出場権をかけたコンテスト形式の上演大会。今年度は県内高校演劇部10校が参加した。主要表彰は以下の通り。
 ○最優秀賞 大分豊府高校「むれたがる私たち」（中原久典）…九州大会優秀賞受賞（九州第2位）、第15回春季全国高等学校演劇研究大会出場権獲得
 ○優秀賞一席 日田三隈高校「希望の灯（あかり）～自分を生きると決めた日～」（日田三隈高校演劇部）
 ○優秀賞二席 大分西高校「一期いちご」（奥唯人）
 ○優秀賞三席 大分鶴崎高校「待ちの風景」（山崎公博） 作 大分鶴崎高校舞台映像研究部 姫野史子 潤色）
 ○創作脚本賞 日田三隈高校演劇部「希望の灯（あかり）～自分を生きると決めた日～」
 ○審査員特別賞 三重総合高校「羊と山羊のTRIAGE」～Mask on Sheeples～
 ○審査員特別賞 大分国際情報高校「あなたの一票をください」

平和市民公園能楽堂30周年 大分県能楽連盟発足記念会

開催日時：11月1日（日）10:00～16:30
 会場：平和市民公園能楽堂
 主催：大分県能楽連盟
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：150人 参加者数（主催者人数）：110人



念願であった県下12団体、150余名が一同に結束してコロナ禍の様な温かく和やかな会であった。県連盟の結成は困難な場面もあったが、8才から93才まで励まし合い開催することができた。10年早く結成して欲しかったと親睦と研修の輪は大成功でした。文化庁子ども教室第1期生の甲斐君は15年間継続、馬野正基師を招き、大分の能「清経」を見事演能した。

こども体験パーク（伝統文化編）

開催日時：10月11日（日）13:00～16:00
 会場：平和市民公園能楽堂
 主催：平和市民公園能楽堂
 共催：大分県民芸術文化祭実行委員会
 観客数：380人 参加者数（主催者人数）：112人（40人）



小学生を対象に日本の伝統文化・芸能を「見て」、「感じて」、「体験する」「こども体験パーク（伝統文化編）」を開催した。
 ①「和菓子作りとおいしい日本茶の入れ方」 ②「着物の着付けを体験して、撮影会に参加しよう」 ③「池坊のお花を体験しよう」
 ④「表千家のお茶を体験しよう」 ⑤「狂言を体験しよう」
 その他、小物づくりワークショップ「お花のイヤリングをつくろう」と「消しゴムはんこ&巾着をつくろう」。
 平和市民公園能楽堂を身近に感じ、こども達自身の視点で伝統、文化をとらえることで、世界の中で誇りと自信につながったと思う。

地域文化フェスティバル

5つの芸術文化ゾーン内の連携行事

「歌う！おおいた」祭典2020 ～盆踊りだヨ！全員集合！～

開催日時：11月14日（土）14:00～16:00

会場：J:COMホルトホール大分・小ホール

主催：おおいた民謡・民俗芸能活性化委員会

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：78人

参加者数（主催者人数）：80人

大分県内7か所一大分市坂ノ市、大分市佐賀関、玖珠町（山路踊り・山浦踊り）、国東市、臼杵市、中津市一の魅力的な民謡と盆踊りの祭典。感染症対策のためキャパの50%の100名以内の観客にして競演会的に開催。お互いの魅力を鑑賞し、臼杵在住の椎原由紀子さんの布アートの空間美術とも融合して幻想的な祭典となった。会場はフラットにし、センターを盆踊りエリアにして半円陣の観覧席を設けたのも祭典の雰囲気を出すことに効果的であった。フィナーレでは、このイベントが生まれるきっかけとなった、大分県民謡「再発見の旅」の松田美緒さんによる民謡が披露され見事であった。



「耕す里の神楽舞」 高千穂の夜神楽 × 御嶽神楽

開催日時：11月22日（日）13:30～16:00

会場：竹田市総合文化ホール

グランツたけた廉太郎ホール

主催：竹田市文化財活性化実行委員会

共催：大分県民芸術文化祭実行委員会

観客数：506人

参加者数（主催者人数）：45人

地域の文化資源の一つである大分県豊肥地区の神楽は、他の地域にはない固有のスタイルを守り続けてきた。今年はコロナの影響で、竹田市内11座が研鑽を積む機会である「研修舞」が中止となったため、国指定重要無形民俗文化財である高千穂の夜神楽と御嶽神楽2つの神楽の夢の共演を開催した。本番前の意見交換の場では、それぞれの現状や問題点などを出し合った。これからは「神楽を見たい」だけでなく「神楽を舞いたい！」という方を増やすため、お互いの意見を聞きあうことで今後の活動を考えるきっかけになった。



第56回大分県美術展（巡回展）

開催日・会場

	会 場	会 期	支部出品数	展示数	入場者数
日本画・洋画 (基本点数38)	臼杵市民会館	R2.10. 5 (月) ～ 10.11 (日)	19	63	306
	三余館 (佐伯)	R2.10.16 (金) ～ 10.18 (日)	15	59	269
	AOSE (日田)	R2.10.26 (月) ～ 11. 1 (日)	17	52	420
	杵築市文化体育館	R2.11. 2 (月) ～ 11. 8 (日)	19	55	482
	ウサノピア (宇佐文化会館)	R2.11. 9 (月) ～ 11.12 (木)	18	54	296
	中津市立小幡記念図書館	R2.11.18 (水) ～ 11.23 (月・祝)	57	93	592
	竹田市歴史文化館・由学館	R2.11.30 (月) ～ 12. 6 (日)	15	51	430
	朝倉文夫記念公園文化ホール	R2.12. 8 (火) ～ 12.13 (日)	18	54	214
書 道 (基本点数50)	AOSE (日田)	R2.11.13 (金) ～ 11.15 (日)	61	111	239
	竹田市歴史文化館・由学館	R2.11.27 (金) ～ 11.29 (日)	30	80	300
	三余館 (佐伯)	R2.12.11 (金) ～ 12.13 (日)	92	142	440
	中津市立小幡記念図書館	R2.12.19 (土) ～ 12.21 (月)	72	122	239
	ウサノピア (宇佐文化会館)※	R3. 1.15 (金) ～ 1.17 (日)	110	160	733
写 真 (基本点数35)	AOSE (日田)	R2.10.21 (水) ～ 10.25 (日)	16	51	317
	きつき生涯学習館 (ホワイエ)	R2.10.26 (月) ～ 10.31 (土)	17	52	385
	はさま未来館	R2.11. 2 (月) ～ 11. 8 (日)	19	54	388
	竹田市歴史文化館・由学館	R2.11.12 (木) ～ 11.15 (日)	20	55	303
	臼杵市観光交流プラザ	R2.11.25 (水) ～ 11.29 (日)	27	62	210
			642	1,370	6,563

※は芸術文化キャラバンで実施

主 催：大分県美術協会、大分県、大分県教育委員会、
(公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団、
大分県立美術館、NPO 法人大分県芸術振、大分合同新聞社
共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
観 客 数：6,563人
参加者数 (主催者人数)：642人 (支部出品数)

本展終了後、選抜作品による巡回展を県内各地18会場で開催した。昨年は、コロナの影響で巡回展の3会場、12日間が中止となったが、本年度は18会場、89日間開催の全てで実施ができた。



巡回展 日洋彫工展 (臼杵)



巡回展 書道展 (佐伯)



巡回展 写真展 (日田)

第62回臼杵市秋の文化祭

開催日時：10月17日 (土) ～ 18日 (日) 10:30～16:00
会 場：臼杵市民会館
主 催：臼杵市文化連盟
共 催：大分県民芸術文化祭実行委員会
観 客 数：669人
参加者数 (主催者人数)：450人

臼杵市文化連盟に加入する団体相互の連絡提携を密にし、1年の精進努力の結果を、臼杵市民の皆様と合同で展示発表した。
(舞台、民舞、日本舞踊、民謡、太極拳、合唱、バレエ 他)
(展示、絵画、写真、短歌 他)



参加行事

部門	行事名	実施日	会場	主催者
文芸	万之長者 炭焼小五郎―飛鳥のロマン 草刈山路と般若姫―出版コラボ記念展	8月31日(月)～9月6日(日)	コトブキヤ文具店駅南店 3F ギャラリー	読書と創作を楽しむ会
文芸	第13回きつき城下町短歌大会	9月13日(日)	杵築市きつき生涯学習館 (紙上大会)	きつき城下町短歌会
美術	西洋絵画400年の旅 珠玉の東京富士美術館コレクション	7月22日(水)～9月6日(日)	大分県立美術館	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
美術	第63回別府市美術展	8月25日(火)～9月6日(日)	別府市美術館	別府市美術協会
美術	児玉成弘展	9月19日(土)～9月27日(日)	アトリエミモザ(日出町)	行動大分作家協会
美術	第39回写真クラブ「白陽会」写真展	9月21日(月)～9月27日(日)	アートプラザ	写真クラブ白陽会
美術	ミドリノホンガ 大分県立芸術緑丘高校 美術科日本画専攻秀作展	9月22日(火)～9月27日(日)	iichiko 総合文化センター アトリウムプラザ	大分県立芸術緑丘高等学校
美術	第15回大分アジア彫刻展	10月10日(土)～11月29日(日)	朝倉文夫記念文化ホール	大分アジア彫刻展実行委員会・大分県・豊後大野市
美術	渡辺長男・大塚辰夫コーナー展示 ～朝倉文夫と二人の兄弟～	10月10日(土)～11月29日(日)	朝倉文夫記念館 第三展示室	大分アジア彫刻展実行委員会・大分県・豊後大野市
美術	第29回けんしん美術展	10月13日(火)～22日(木)	大分県信用組合本店 5F ホール	大分県信用組合
美術	大分合同新聞油絵教室作品展	10月21日(水)～25日(日)	アートプラザ	大分合同新聞文化教室油絵講座
美術	大分県立美術館開館5周年記念事業 生誕110年宇治山哲平にみる「やまとごころ」	10月30日(金)～11月29日(日)	大分県立美術館	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
美術	第29回大分創元展	11月10日(火)～15日(日)	大分県立美術館	大分創元会
美術	MANGA都市TOKYO展 ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮2020	11月21日(土)～2021年1月17日(日)	大分県立美術館	MANGA都市TOKYO大分展実行委員会・TOSテレビ大分・(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
美術	第69回大分県高等学校文化連盟美術・工芸中央展	11月5日(木)～11月8日(日)	大分県立美術館	大分県高等学校文化連盟
美術	ARTPLAZA PickupArtist展 vol.9	12月11日(金)～12月20日(日)	アートプラザ2F アートホール	アートプラザ共同事業体
美術	ベップ・アート・マンス2020	12月12日(土)～2021年1月31日(日)	別府市内各所	混浴温泉世界実行委員会
美術	梅田哲也 イン 別府	12月12日(土)～2021年3月14日(日)	別府市内各所	混浴温泉世界実行委員会
美術	けんしん美術展特別展―歴代大賞作品とともにふりかえる29年―	12月1日(火)～12月13日(日)	別府市美術館2F企画展示室	大分県信用組合
美術	令和2年度第72回芸術緑丘高等学校制作展	12月21日(月)～12月27日(日)	大分市美術館	大分県立芸術緑丘高等学校
美術	第28回公募アマチュア絵画展	12月5日(土)～12月12日(土)	豊和銀行本店8F	(株)豊和銀行
美術	新潮流'20展	12月8日(火)～13日(日)	大分県立美術館	新潮流の会
音楽	芸術文化キャラバン 室内楽おいた～grand～	9月25日(金)	国東市立志成学園	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/国東市教育委員会
音楽	ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会～第5幕～	9月28日(月)	iichiko 音の泉ホール	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	芸術文化キャラバン 合唱団藍	9月29日(火)	佐伯市立直川中学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/佐伯市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン グループUNO	10月21日(水)	国東市立安岐小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/国東市教育委員会

部門	行事名	実施日	会場	主催者
音楽	芸術文化キャラバン 管楽器プレイヤーズ大分	10月22日(木)	日出町立藤原小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/日出町教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン おおいのオペラカンパニー	10月23日(金)	宇佐市立横山小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/宇佐市教育委員会
音楽	グランドオペラ共同制作 プッチーニ作曲「トゥーランドット」全3幕 イタリア語上演・日本語及び英語字幕付き・新制作	10月24日(土)	iiichiko グランシアタ	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	芸術文化キャラバン 吹奏楽団 アンサンブル OITA	10月24日(土)	別府市立鶴見小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/別府市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン グループUNO	10月27日(火)	大分市立桃園小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/大分市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン おおいのオペラカンパニー	10月28日(水)	別府市立石垣小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術
音楽	芸術文化キャラバン PATHMA	10月29日(木)	佐伯市立佐伯小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/佐伯市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 管楽器プレイヤーズ大分	10月29日(木)	姫島村立姫島中学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/姫島村教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 大分二期会	10月30日(金)	大分市立穂田西中学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/大分市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 大分二期会	10月6日(火)	中津市立上津小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/中津市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 大分県三曲協会	10月6日(火)	九重町立飯田小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/九重町教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 洗足学園音楽大学 同窓会大分県支部	10月7日(水)	日田市立有田小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/日田市教育委員会
音楽	音楽科コンサートシリーズNo.108「ピアノコース演奏会〜ピアノ音楽への誘い〜」	11月11日(水)	iiichiko 音の泉ホール	大分県立芸術文化短期大学
音楽	ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会〜第6幕〜 FINAL	11月12日(木)	iiichiko 音の泉ホール	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	芸術文化キャラバン カサ・デ・ギターラ	11月13日(金)	宇佐市立高家小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/宇佐市教育委員会
音楽	声楽コース教員による《ベートーヴェン歌曲の午後》〜小林道夫客員教授を迎えて〜	11月15日(日)	大分県立芸術文化短期大学 音楽ホール棟 音楽ホール	大分県立芸術文化短期大学
音楽	芸術文化キャラバン 大分県庁職員吹奏楽団	11月15日(日)	大分市立三佐小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/大分市教育委員会
音楽	ベートーヴェンピアノ協奏曲のタベ 〜磯崎淳子 名誉教授を迎えて〜	11月16日(月)	大分県立芸術文化短期大学 音楽ホール棟 音楽ホール	大分県立芸術文化短期大学
音楽	芸術文化キャラバン 室内楽おおいの〜 grand 〜	11月16日(月)	別府市立上人小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/別府市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 室内楽おおいの〜 grand 〜	11月20日(金)	別府市立南立石小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/別府市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 室内楽おおいの〜 grand 〜	11月20日(金)	中津市立北部小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/中津市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン 大分二期会	11月20日(金)	中津市立耶馬溪中学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/中津市教育委員会
音楽	芸術文化キャラバン アンサンブル「みどりのそよ風」	11月20日(金)	佐伯市立切畑小学校	芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸術/佐伯市教育委員会
音楽	第5回ピアノコン&第25回ビブラピノコンクール 大分予選	11月22日(日)	iiichiko 音の泉ホール	PIARA 大分
音楽	令和2年度公益財団法人日本民謡協会民謡民舞大分県連合大会	11月22日(日)	大分市平和市民公園能楽堂	公益財団法人日本民謡協会大分県連合委員会
音楽	第11回淡窓伝光霊流全国吟詠コンクール 決選大会	11月23日(月・祝)	大分県農業会館	淡窓伝光霊流日本詩道会

部門	行事名	実施日	会場	主催者
音楽	第59回大分県三曲協会定期演奏会 箏・三絃・尺八による「邦楽演奏会」	11月29日(日)	大分市コンパルホール	大分県三曲協会
音楽	芸振文化キャラバン ピアノ演奏グループ「O'未来」	11月3日(火・祝)	佐伯市立明治小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/佐伯市教育委員会
音楽	芸振文化キャラバン ルミエールフルートアンサンブル	11月5日(木)	大分市立佐賀関中学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/大分市教育委員会
音楽	芸振文化キャラバン 管楽器プレイヤーズ大分	11月5日(木)	豊後大野市立三重東小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/豊後大野市教育委員会
音楽	芸振文化キャラバン グループUNO	11月6日(金)	日出町立日出小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/日出町教育委員会
音楽	音楽総合コース 作曲作品展	11月7日(土)	大分県立芸術文化短期大学 音楽ホール棟 音楽ホール	大分県立芸術文化短期大学
音楽	芸振文化キャラバン 室内楽おいた～grand～	11月9日(月)	由布市立川西小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/由布市教育委員会
音楽	松田華音ピアノリサイタル	11月1日(日)	iichiko グランシアタ	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	芸振文化キャラバン 洗足学園音楽大学同窓会大分県支部	12月11日(金)	国東市立国見中学校 (会場 みんなかん)	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/国東市教育委員会
音楽	第8回大分県中学生芸術文化祭(ミラ☆スタ)	12月12日(土)	iichiko 音の泉ホール	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	九州交響楽団大分公演	12月13日(日)	iichiko グランシアタ	iichiko 総合文化センター/(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	音楽科コンサートシリーズNo.109管弦打コース演奏会 ～師走に心温まるひとときを～	12月2日(水)	iichiko 音の泉ホール	大分県立芸術文化短期大学
音楽	芸振文化キャラバン グループUNO	12月8日(火)	iichiko アトリウムプラザ	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー大分県実行委員会/NPO法人大分県芸振
舞踊	ルナバレエ 7thコンサート2020	9月20日(日)	コンパルホール	ルナバレエ
演劇	創作音楽劇	12月16日(水)	iichiko 音の泉ホール	大分県立芸術文化短期大学
児童文化	第3回全国小中学生書道チャンピオン大会予選大会	10月25日(日)	西本皆文堂	NPO 法人大分県書写書道指導者連合会
児童文化	第57回大分県児童文化祭	10月31日(土)	由布市はさま未来館	大分県児童文化研究会
児童文化	芸振文化キャラバン 大分県人形劇サークル協議会	11月13日(金)	宇佐市立柳ヶ浦小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/宇佐市教育委員会
児童文化	芸振文化キャラバン 大分県人形劇サークル協議会	11月19日(木)	中津市立和田小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/中津市教育委員会
児童文化	芸振文化キャラバン 大分県人形劇サークル協議会	11月5日(木)	由布市立塚原小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/由布市教育委員会
児童文化	芸振文化キャラバン 大分県人形劇サークル協議会	11月6日(金)	佐伯市立渡町台小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/佐伯市教育委員会
児童文化	芸振文化キャラバン 大分県人形劇サークル協議会	12月1日(火)	国東市立竹田津小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/国東市教育委員会
児童文化	芸振文化キャラバン 大分県人形劇サークル協議会	12月3日(木)	佐伯市立本匠小学校	芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会/NPO法人大分県芸振/佐伯市教育委員会
児童文化	第56回大分県人形劇フェスティバル	12月9日(水)	臼杵市野津中央公民館	大分県人形劇サークル協議会
総合	津久見市文化協会会員発表会	11月14日(土)～15日(日)	展示 津久見市民会館/芸能野外ステージ	津久見市文化協会
総合	第45回大分県高等学校文化連盟総合文化祭大分大会	11月16日(月)～11月17日(火)	iichiko 総合文化センター	大分県高等学校文化連盟

部門	行事名	実施日	会場	主催者
総合	第31回宇佐市民文化祭	12月3日(木)～14日(月)	ウサノピア	宇佐市文化協会
文化一般	令和2年度特別展「大相撲力士群像―相撲の歴史と時代のヒーローたち―」	10月16日(金)～11月29日(日)	大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館
文化一般	大分国際車いすマラソン大会 第11回交流イベント 「多文化理解論」公開講義「大分国際車いすマラソン大会 廣道純選手とTALK SHOW」	11月13日(金)	大分県立芸術文化短期大学 人文棟大講義室	大分県立芸術文化短期大学
文化一般	第8回しんけん大分学検定	11月3日(火・祝)	大分県水産会館ほか	一般社団法人大分学研究会

(再掲 県関係行事)

大分県立美術館

美術	西洋絵画400年の旅 珠玉の東京富士美術館コレクション	7月22日(水)～9月6日(日)	大分県立美術館	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分県立美術館
美術	大分県立美術館開館5周年記念事業 生誕110年宇治山哲平にみる「やまとごころ」	10月30日(金)～11月29日(日)	大分県立美術館	
美術	MANGA都市TOKYO展 ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮2020	11月21日(土)～2021年1月17日(日)	大分県立美術館	MANGA都市TOKYO大分展実行委員会 (TOSテレビ大分・(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館)

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団

音楽	ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会 ～第5幕～	9月28日(月)	iichiko 音の泉ホール	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
音楽	グランドオペラ共同制作 プッチーニ作曲「トゥーランドット」 全3幕 イタリア語上演・日本語及び英語字幕付き・新制作	10月24日(土)	iichiko グランシアタ	
音楽	ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会 ～第6幕～ FINAL	11月12日(木)	iichiko 音の泉ホール	
音楽	松田華音ピアノリサイタル	11月1日(日)	iichiko グランシアタ	
音楽	第8回大分県中高校生芸術文化祭 (ミラ☆スタ)	12月12日(土)	iichiko 音の泉ホール	
音楽	九州交響楽団大分公演	12月13日(日)	iichiko グランシアタ	

大分県立歴史博物館

文化一般	令和2年度特別展「大相撲力士群像―相撲の歴史と時代のヒーローたち―」	10月16日(金)～11月29日(日)	大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館
------	------------------------------------	---------------------	-----------	-----------

大分アジア彫刻展実行委員会

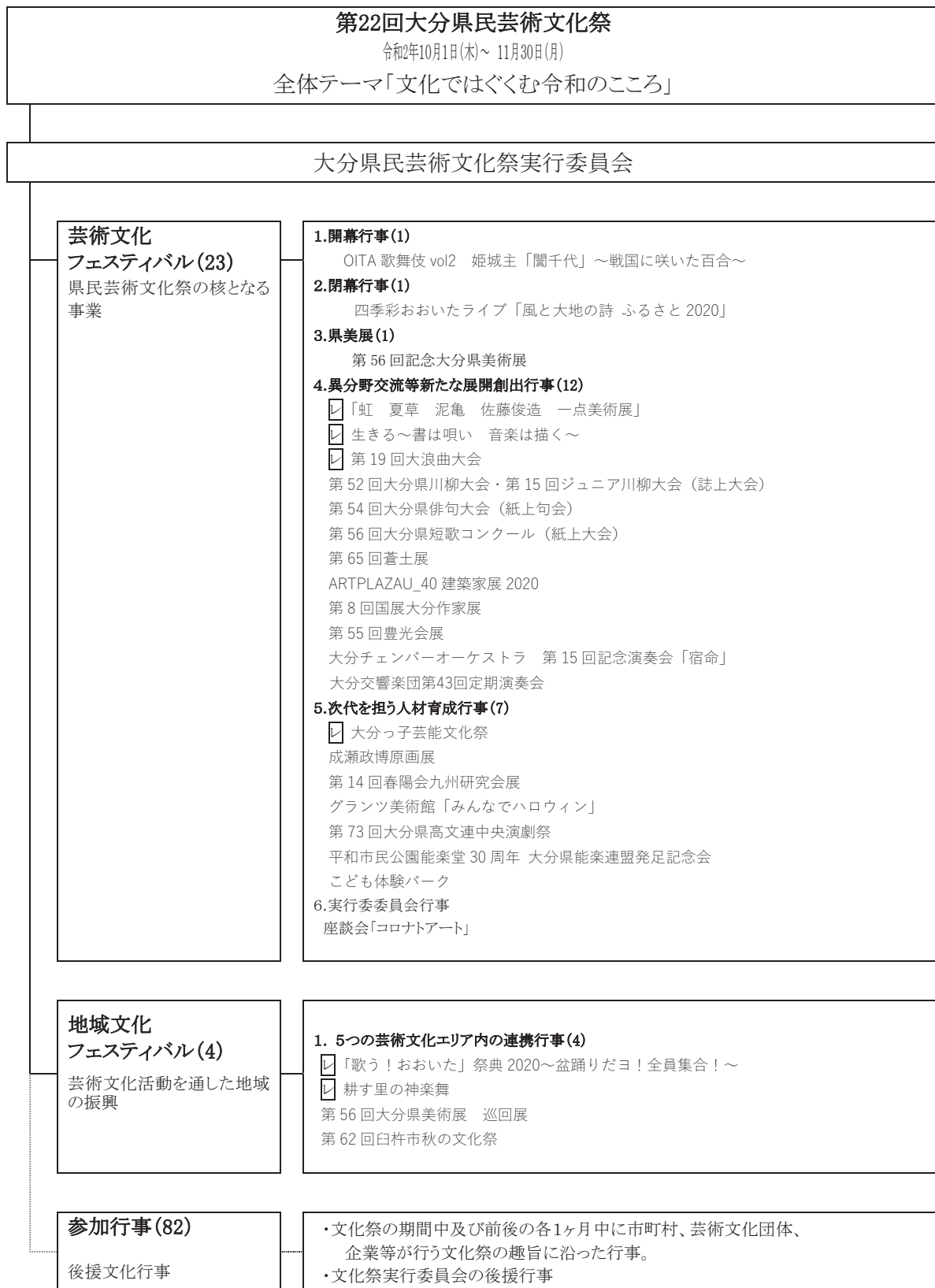
美術	第15回大分アジア彫刻展	10月10日(土)～11月29日(日)	朝倉文夫記念文化ホール	大分アジア彫刻展実行委員会・大分県・豊後大野市
美術	渡辺長男・大塚辰夫コーナー展示 ～朝倉文夫と二人の兄弟～	10月10日(土)～11月29日(日)	朝倉文夫記念館 第三展示室	大分アジア彫刻展実行委員会・大分県・豊後大野市

東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー大分県実行委員会

音楽	芸振文化キャラバン グループUNO	12月8日(火)	iichiko アトリウムプラザ	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー大分県実行委員会/NPO法人大分県芸振
----	-------------------	----------	------------------	--

第22回大分県民芸術文化祭の概要

■構成図



☒ はレガシー枠行事です。

- 全体テーマ 文化ではぐくむ令和のこころ
- 開催期間 令和2年10月1日（木）～11月30日（月）（参加行事は9月1日～12月31日）
- 開催地 県内各地
- 事業総数 109行事
 - （内訳）ア 芸術文化フェスティバル 23行事
 - イ 地域文化フェスティバル 4行事
 - ウ 参加行事 82行事
- 行事参加者総数 12,097人
- 観覧者総数 145,899人

【参考】 第14回（平成24年度）からの実績

開催回数及び 年度	第21回	第20回県民 芸術文化祭 国民文化祭	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回
行事種類	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
芸術文化フェスティバル	26		28	31	29	30	26	27
地域文化フェスティバル	8		8	6	7	6	9	6
参加行事	173		180	195	177	192	188	194
合 計	207	482	216	232	213	228	223	227
行事参加者総数	17,832	164,111	25,411	72,844	157,403	38,271	136,140	25,557
観覧者等総数	327,908	2,593,699	246,356	233,389	347,041	276,953	345,172	501,505

芸術文化フェスティバル

第22回 文化ではぐくむ令和のこころ
大分県民芸術文化祭
令和2年 10月1日(木)～11月30日(月)
芸術祭をPRするポスターの基本デザイン案

県民芸術文化祭のポスター案など決まる

第1回実行委員会

2020年度県民芸術文化祭第1回実行委員会（12日・いいいちこ総合文化センター）で、第22回県民芸術文化祭（10月1日～11月30日）の行事や芸術祭をPRするポスターの基本デザイン案などが決まった。

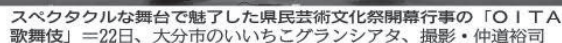
開催行事は29行事。開幕行事は「OITA歌舞伎『間千代』」で、辞退となった開幕行事は、新たに検討している。

16点の中から審査したポスターの基本デザイン案は、県立芸術文化短期大ビジュアルデザインコースの渡辺弥咲さん（2年）の作品を選んだ。

21年度の第23回県民芸術文化祭の開幕行事は、大分二期会による「オペラ『カルメン』」、閉幕行事はNPO法人おおいた第九を歌う会による「第45回大分第九の夕べ」に決定した。

県民芸術文化祭・開幕行事

代を演じた日本舞踊家の
小野ひとみ、宗茂役を務め



ソーシャルディスタンスに配慮した客席には約800人が来場。派手なパフォーマンスと物語性が詰まったステージを堪能していた。

(高橋桂子)

大分合同新聞 2020.9.23



姫城主 闇千代

大分合同新聞 2020.9.9

県民芸術文化祭 閉幕行事変更へ

県民芸術文化祭実行委員会は12日、2020年度第1回実行委員会を大分市のいいち総合文化センターで開き、既に決定していた閉幕行事の変更を決めた。11月27日にいいち音の泉ホールで予定されていた閉幕行事「愛しのベートーベン!!」は、主催団体が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で十分な準備ができないとして辞退を表明したという。

新たな閉幕行事については実行委で検討していく。

大分合同新聞 2020.6.13

県民芸術文化祭閉幕行事の映像詩「四季彩おおいたライブ」



28日、「四季彩おおいたライブ」配信

地元の魅力を再発見

映像、音楽、舞踊がコラボ

第22回県民芸術文化祭の閉幕行事「四季彩おおいたライブ」風と大地の詩 ふるさと2020は28日午後2時から、大分市のいいち音の泉ホールである。文化庁や実行委員会などが主催する「ライブ・フェスティバルinOITA」の参加事業。入場に必要な整理券配布は終了しているが、開演前の13時50分からリアルタイムで動画が配信される(DR-1https://youtu.be/L2WVE072C5A)。

大分県の自然、芸術文化の魅力を再発見する映像詩で、映像、音楽、舞踊がコラボレーションする。高校生になった少女が、大分の自然や風景の素晴らしさを遠くの友人に伝えようと、季節を巡る旅を始めるというストーリー。

構成・演出はモダンダンスの後藤智江が手掛け、振り付け・指導は日舞が藤間次登、バレエが佐藤利英子。少女役は芸術緑丘高の岩矢紗季が務める。朝来桂一(バイオリン)、宇野健太(チェロ)、小野未希(フルート)らの演奏と、モダン、バレエ、日舞の踊り手が融合する。

後藤は「こういうときだからこそ、舞台ができることの喜びと素晴らしさを感じてやりたい。各分野が互いにいいところを出し合い、次につなげる公演にしたい」と話している。問い合わせは、事務局のJCOMホルトホール大分(☎097・576・8877)。(高橋桂子)

大分合同新聞 2020.11.25

新型 コロナ

舞台芸術の今とこれからを議論

第22回県民芸術文化祭実行委員会事業の座談会「コロナトアート」が23日、大分市の県立美術館であった。大分市美術館の菅章館長を座長に、県内外の舞台芸術の世界で活躍する深田博治（狂言師）、行天祥晃（声楽家）、花柳龍知郎（日本舞踊家）、佐倉吹雪（脚本・演出家）の4人が出演。新型コロナウイルス禍の現状とコロナ後についてなど、多くの観点から語り合った。約1時間半に及んだ激論の一部を紹介する。（高橋桂子）

「映像」と「生」の共存探る



座談会「コロナトアート」で活発に議論を交わす出演者—大分市の県立美術館

菅 舞台芸術はどれも相次ぐ公演中止などで厳しい状況に耐えている。現状はいいがですか。
深田 9月に入ってから徐々に戻っています。とにかくやろうとやっているが、客は半分しか入れられず、やればやるほど赤字なのが現状です。
行天 大きな口を開けて大きな声を出す声楽が世の中で一番ダメと言われている。8月に東京の藤原歌劇団が、マウス

配信でファン層広がった 譲れない現場での体験

シールドを着けてオペラをしましたが、まだ厳しい状況であることに変わりはないですね。
花柳 公演はできない状況が続いています。これが来年末まで

佐倉 配信やDVDは、気軽に見てもいい興味を持ってもらうにはいいツールで、これから活用していきたい。でも演劇や舞台は同じ時間で同じ空間と空気を共有して観客と一緒に作り上げていくもの。やはり生で、というのがある。
菅 聞いているとオンラインで普及や、新しい層の獲得はできる。いい面もあるが、現場で体験することの重要性は譲れないところですね。二つをどう調整、使い分けていくかが、今後の課題になりそうですね。では、アフターコロナについての考えは。
行天 ワクチンが開発されればコロナも普通の病気になると思う。怖がらず工夫して何かをやっていくことが大事。大分から新しいクラシック文化を発信していきたい。
花柳 全く元に戻る可能性は低いのでは。今まで見てきたような人に映像を通して見てもらうことで、生の舞台の大事さを両方大切に、共存していくしかない。新しい形をつくりたい。
菅 文化芸術は決して不要不急ではありません。厳しい中でも新たな展開を生み出し、もっともつと文化芸術を推進していくってほしい。それが今、表現者に問われているのではないだろうか。

菅 ウィズコロナで考えさせられたことは、いかがですか。
深田 今までは劇場に来て生で見てもらうのを考えていました。今回初めて配信を経験し、海外の人にも見てもらえるなど広がりました。これを生で見ていたのと同じようにつなげていきたいと考えています。
行天 演奏活動ができなくなった学生や、全休がストップしている専門のスタッフさんたちを心配しています。衣装さんやメイクさんとかがいなくなってしまうと取り返しがつかない。
佐倉 配信やDVDは、気軽に

続くのかと怖いのが、頭張っていかなくてはなりません。
菅 佐倉さんは作・演出した文化祭開演行事の舞台「OITA歌舞伎」(24日・いちごテラスシアター)を上演したばかりですね。
佐倉 6月の緊急事態宣言解除からおよそ2週間、少しずつの人数で感染防止対策をしながら、稽古を始めました。中止になるのでは、観客が来られないのではと不安なまま不安に駆られ、普段は慣れた演技をしながら、終わらなければならぬので感染者が出たりしないかは心配。まだ2週間ほどは油断できないと思っています。
菅 ウィズコロナで考えさせられたことは、いかがですか。
深田 今までは劇場に来て生で見てもらうのを考えていました。今回初めて配信を経験し、海外の人にも見てもらえるなど広がりました。これを生で見ていたのと同じようにつなげていきたいと考えています。
行天 演奏活動ができなくなった学生や、全休がストップしている専門のスタッフさんたちを心配しています。衣装さんやメイクさんとかがいなくなってしまうと取り返しがつかない。
佐倉 配信やDVDは、気軽に

〈日洋彫工展〉

若さあふれる 593点ずらり

県美展・日洋彫工展始まる

第56回県美術展・日洋彫工展（県美術協会、大分合同新聞社など主催）が16日、大分市寿町の県立美術館で始まった。会員の力作を中心に、一般の入賞・入選作品33点を展示している。27日まで。

今回は会員と一般から日本画107点、洋画411点、彫刻20点、工芸58点の応募があった。全出品から選ばれた最高賞の県美術協会賞に会員の高木伸子さん（大分市）の日本画「なな」が選ばれた。高木さんは「今年、準備できるか不安もあったが無事に初日を迎えて安心して、出品数も例年通りで、若い人の作品を中心に見たい」と話した。



日本画、洋画、彫刻、工芸とバリエーション豊かな力作を鑑賞する来場者＝16日、県立美術館、撮影・鎌手美和

観覧料は一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料。（小田原大周）

大分合同新聞 2020.9.17

〈写真展〉

一瞬切り取る美しい作品 県美展・写真展始まる



展示された写真を観覧する人々＝13日、大分市寿町の県立美術館、撮影・江藤成吾

第56回県美術展・写真展（県美術協会、大分合同新聞社など主催）が16日、大分市寿町の県立美術館で始まった。招待と賞、一般の入賞・入選作品計436点を展示している。狙い澄ました一瞬を切り取った作品や、構図や色の配置などにこだわってデジタル加工した作品が多い。しつかり作

品が多い。しつかり作
り込んでいてレベルが高い展覧会になったと話している。観覧料は一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料。（小田原大周）
（入賞者名簿は15面、一般入選者と審査評は17掲載予定）

大分合同新聞 2020.10.14

〈書道展〉

芸術の秋、珠玉の作品群



県立美術館で県美展書道展

第56回県美術展書道展（県美術協会、大分合同新聞社など主催）が2日、大分市寿町の県立美術館で始まった。会員の力作を中心に、一般の入賞・入選作品22点を展示している。公衆の部と会員の部の大分、別府両支部以外は16日から6日後1時まで、会員の部は、別府両支部は7日から11日まで。来場者は漢字、かな、調

会員の力作の特選など72点を展示
＝2日午前、大分市寿町の県立美術館

和体・近代詩文書、大字書、篆刻・刻字、前衛書などの力作をじっくり鑑賞していた。県美術協会書道部の松崎大郷部会長は「新型コロナウイルスの影響もあったが無事開催できて安心した。県内外で多くの展覧会が中止になったこともあり、時間をかけて仕上げた作品が多い」と話した。観覧料は一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料。（小田原大周）
（入賞・入選者は4面に掲載）

大分合同新聞 2020.10.3

「人生の素晴らしさ」力強く表現



ピアノの演奏に合わせて筆を走らせる書家の戸口勝山さん＝大分市のいいちこ音の泉ホール



戸口勝山さんが描いた「風」の書（右上）の前で演奏する教え子の音楽家たち

書家のパフォーミングと音楽の演奏がコラボレーションしたイベントである。書は唄い言葉は描く。18日、大分市のいいちこ音の泉ホールであった。喜怒哀楽にあふれた人生の素晴らしさを書と音楽で表現した。

書家で県芸術文化振興会理事長の戸口勝山（本名・勝司）さんと、戸口さんの県立芸術短期大付属緑丘高（現芸術緑丘高）時代の教子で県内外で活動する三重野広美さん（ソプラノ、東京 期会）、浦松優子さん（ピアノ）、麻生美穂さん（フルート）らが出演。「鼓動」「躍動」「前進」「退却」の四つのテーマに合わせて、紙や布、アクリル板に書をしたため、音楽を奏でた。

ファイナレを飾ったベートーヴェンの交響曲第9番をモチーフにした「希望のうた」では、縦約2メートル、横4メートルの紙に、たなびくように流れる書体で書かれた「風」の書と共に、三重野さんの力強い歌声で生きる喜びを表現。コロナ禍で新しい日常の中でも前を向いて歩こうというメッセージを送った。（小田原大周）

書と音楽のコラボレーション

音楽を奏でた。

大分合同新聞
2020.10.28

県立図書館のエントランスに飾られた佐藤俊造「真昼」



日田町出身で2010年に56歳で亡くなった画家、佐藤俊造の作品を県内各地の会場で1年ずつ紹介する展覧会「虹 夏草 泥鰌 佐藤俊造」が開かれている。当初約30カ所での予定だったが、会場交流サイト（SNS）などで同展を知った人からの開催希望が相次ぎ、100カ所ほどに増えている。佐藤の独創的な絵、飾られたそれぞれの空間が共鳴して新しい魅力を生みだしている。

一点美術展は没後10年を機に佐藤の画家としての人に知ってもらおうと、生前に佐藤と交流のあった友人ら約30人が実行委員会を立ち上げて企画した。同委員会は県内全18市町村で開かれていて、展示場所はアートエリや喫茶店、神社などさまさま。来年8月には築大成として、大分市のアートラザで開催を予定している。佐藤は1934年、5人きょうだいの末子として生まれた。高校卒業後、舞台美術を志すために、海上、独学で絵画を始める。海

独創的な絵 空間と共鳴

県内110カ所で「佐藤俊造一点美術展」



佐藤俊造展実行委員会のメンバーら

没後10年を機に友人ら企画

外を1年間放浪した後、帰郷した。40代半ばは実家（大分市）で「花の本家」を構え、妻に先立たれたが、自らも農作業をしながら絵を描き続けた。前衛的な作品は、「冒険を描いてるのか分らないが、じつくり鑑賞している」、色や形が強烈な体となって一つの物語を持った世界となり、佐藤の手由観や自然観を訴えかけてくる強さがある。同展実行委員会代表で画家の二宮主一さんは「さちようめんで暖かい、温かいな絵だ」と、きつと計算し尽くした絵を仕上げていて、無名作家だが、評価や利益などに逆巻く、自然が対話してひたすら描いた完成度の高い作品を見てほしい」と呼び掛けている。

16日には、会場の一つ、県立図書館（大分市）のエントランスホールに縦約2.4メートル、横約1.6メートルの「真昼」を飾る。木枠のキーボードを、その中を歩いていこうな作りにした。実行委員会会長で美術作家の木村和子は「佐藤さんが設計した独特な空間にもならない展示場になっていく。3月の開展に向けてさらに機を盛り上げていきたい」と話した。（小田原大周）

大分合同新聞
2020.10.20

渡辺さんに県知事賞

県俳句大会 小中学生の部はまつながさん

県俳句連盟は8日、第54回県俳句大会の結果を発表した。新型コロナウイルスの感染防止対策のため募集句による紙上句会となり、188人の会員からの投句があった。

同連盟の山下かず子会長（大分市）が選者を務め、渡辺清美さん（大分市）の「草いきれ残し里の灯ともりけり」が最高賞の県知事賞に決まった。1615人の応募があった小中学生の部では、まつながほのかさん（由布市阿南小1年）の「りかしつめだかななくおよいでる」が県知事賞に選ばれた。

65歳以下か、句歴5年以下の人が対象の新人賞は長野明美さん（臼杵市）に贈られた。（吉村智江美）

大分合同新聞 2020.11.13

「距離感」テーマに12組が展示 あすまで大分市で「U_40建築家展」



人と建物の関係性を考える作品が並ぶ

九州にゆかりのある40歳以下の建築家による「U_40建築家展2020」が大分市のアートプラザで開かれている。8日まで。

若手建築家らが発表の場として毎年開いていて今回が11回目。12組13人が参加している。新型コロナウイルス禍で、他人との交流が制限される中、人と建物の関係性を捉え直そうとテーマを「距離感」にした。

実際に手掛けた住宅の模型や建築とは何かを示したモニュメントなどが並ぶ。会場内は至る所に風

船を設置しており、よけるために自然と鑑賞者同士が距離を保てる仕掛けになっている。同展実行委員会は「コロナ禍で住環境や家族が集まる空間を見つめ直す機会となった。建築家という視点で新しい価値観を提示しようと取り組んだ作品を見てほしい」と話した。

期間中は、インターネットでの出展者のギャラリートークを予定している。詳細はホームページ（<https://u40architects2020.wixsite.com/home>）で確認できる。（小田原大周）

大分合同新聞 2020.11.7

次代を担う人材育成行事

県能楽連盟発足記念大会に10団体 子ども教室1期生「清経」披露

平和市民公園能楽堂の開館30周年を記念した「県能楽連盟発足記念大会」が1日、大分市の同能楽堂で開かれた。県内10団体から約100人が出演。素謡や仕舞などで日頃の研さんの成果を披露した。

大分ゆかりの演目でもある半能の「清経」には2006年から開講している「伝統文化子ども教室」の1期生である甲斐智也さん（北九州工業大3年）が登場。源平合戦のさなか、都を追われ悲観して入水した平清経の届けめ思いと、念仏の功德により救われる身となったさまを表現した。

約90人の観客が伝統芸能の世界を堪能していた。



⑤半能「清経」を披露する甲斐智也さん
⑥仕舞の演目「熊坂」を披露する赤松彰子さん＝大分市の平和市民公園能楽堂

大分合同新聞 2020.11.11

5つの芸術文化ゾーン内の連携行事

県美展の巡回展
力作59点が並ぶ

佐伯市であすまで

【佐伯】第56回県美展巡回展（県美術協会、大分合同新聞社など主催）が16日、佐伯市の三余館で始まった。18日まで。

県美展の入賞作44点と市内在住者の出品作15点を展示。洋画や日本画、彫刻の力作が並んでいる。市美術協会は「素晴らしい作品ばかり。多くの人に見てもらいたい」と来場を呼び掛ける。

入場無料。開場は午前9時～午後5時（最終日は午後3時まで）。

（大津麻菜）



作品を鑑賞する来場者

大分合同新聞
2020.10.17

個性あふれる
写真62点展示

臼杵で県美展巡回展

【臼杵】県美術展の写真巡回展（県美術協会、大分合同新聞社など主催）が25日、臼杵市観光交流プラザで始まった。入場無料。29日まで。

県美展の入賞作品など62点を展示している。うち臼杵市民の作品は27点。県美術協会写真部の安藤正一県南支部長は「風景や人物などバラエティーに富んだ作品がそろった。撮影者の個性があふれる写真を楽しんでほしい」と来場を呼び掛ける。

開場は午前9時から午後6時（最終日は午後3時まで）。

（衣笠由布妃）



力作が並ぶ会場

大分合同新聞 2020.11.26

書道作品122点
県美展巡回展

中津、あすまで

【中津】第56回県美展・書道巡回展（大分合同新聞社など主催）の中津会場は19日、中津市片端町の市立小幡記念図書館で始まった。21日まで。観覧は無料。

巡回作品40点に加え、公募で選ばれた地元の作品など82点を展示している。高校生の力作も多い。県美協書道部会中津支部の田長丸佐千支部長は「今回もレベルの高い作品が集まった」と来場を呼び掛けている。

（安東公綱）



力作がすらり

大分合同新聞
2020.12.20

大分県民芸術文化祭開催要綱

1 開催趣旨

平成30年に開催された国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭（以下国民文化祭等という）の成果を継承するため、県民の芸術文化活動の発表と鑑賞の機会を広く提供することにより、文化の香り高いクリエイティブ大分の実現をめざす大分県民芸術文化祭（以下「文化祭」という。）を開催する。

2 主 催

大分県民芸術文化祭実行委員会（以下「文化祭実行委員会」という。）、各行事の主催団体等

3 開催期間

原則として、毎年10月1日から11月30日までの2ヶ月とする。

4 開催地

開催地は、大分県内とする。

5 事業内容

文化祭実行委員会が主催、共催または後援する行事は次のとおりとする。

（1）芸術文化フェスティバル

芸術文化団体の活性化と芸術文化の発展に寄与する文化祭の核となる行事

① 開幕行事 文化祭の開幕を飾るイベント（文化祭実行委員会の主催行事）

② 閉幕行事 文化祭の閉幕を飾るイベント（ 同 上 ）

③ 県 美 展 長い歴史と実績を持つ文化祭の中心的イベント（ 同 上 ）

④ 異分野交流等新たな展開創出行事（文化祭実行委員会の共催行事）

・（レガシー枠）異分野間、団体間の交流促進や外部講師の招聘などにより、新たなチャレンジを行う複数の団体の共催による芸術文化行事

・分野ごとの鑑賞機会の提供や練習成果の発表となる行事

⑤ 次代を担う人材育成行事（文化祭実行委員会の共催行事）

・（レガシー枠）後継者や若者など次世代を担う人材育成を主たる目的として行う行事で、複数の団体の共催によるもの

・若者が中心となって企画する行事や知識や技術の普及向上を図るための研修会など

⑥ 実行委員会が企画・実施する行事（文化祭実行委員会の主催行事）

（2）地域文化フェスティバル

文化を通じた地域の振興に寄与する行事

① 5つの芸術文化ゾーン内の連携行事（文化祭実行委員会の共催行事）

・（レガシー枠）国民文化祭等の5つのゾーンテーマ（※参照）を継承し、地域の特色を県内外に発信できるものや行事への参加により伝統文化等の理解が深められるもの。

・市町村や地域の文化団体等の地域文化の活性化のために行うイベントや地域固有の文化・伝統文化の鑑賞機会を提供するものや活動成果の発表となるもの。

（3）参加行事

文化祭期間中及び前後の各1ヶ月中に市町村、芸術文化団体、企業等が行う文化祭の趣旨に沿った行事で実行委員会が負担金を交付しないもの。（文化祭実行委員会の後援行事）

6 経 費

文化祭（参加行事を除く。）の開催経費については、大分県からの補助金、主催団体の自己財源、及びその他収入をもって充てる。

附 則

この要綱は、平成17年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、平成18年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、平成19年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、平成20年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、平成21年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、平成22年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、令和元年度予算にかかる事業から適用する。

附 則

この要綱は、令和2年度予算にかかる事業から適用する。

* 5つのゾーンテーマ

「出会いの場」（大分市、別府市、由布市）

「祈りの谷」（豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町）

「豊かな浦」（佐伯市、臼杵市、津久見市）

「耕す里」（竹田市、豊後大野市）

「水の森」（中津市、日田市、九重町、玖珠町）

大分県民芸術文化祭実行委員会委員名簿

(令和元年・2年度)

令和3年2月5日現在

会 長	NPO 法人大分県芸術文化振興会議理事長	戸口 勝司	
副会長	別府大学文学部特任教授	根之木英二	
委 員	大分合同新聞社マーケティング統括局ディレクター	甲斐 浩司	
〃	NHK大分放送局長	高橋 善行	
〃	OBS 大分放送取締役報道制作局長	兼子 憲司	
〃	TOS テレビ大分報道制作局長	園田 雅之	
〃	OAB 大分朝日放送専務取締役報道制作担当	橋本 仁	
〃	エフエム大分取締役総務部長兼放送部長	平山 玲	
〃	公認会計士	秦野 晃郎	監事
〃	国見アートの会代表・(株)涛音寮館長	和田木乃実	
〃	大分県教育庁文化課長	木下 敬一	
〃	大分県企画振興部芸術文化スポーツ振興課長	柳井 孝則	監事
〃	大分県芸術文化スポーツ振興財団経営統括監	鈴木 辰洋	
〃	大分県民芸術文化祭企画部会部会長	清原 保雄	

企画部会委員名簿

部会長	大分合同新聞社客員論説委員	清原 保雄
委 員	大分大学教育学部教授	田中 修二
〃	芸術副理事長	土谷 正公
〃	大分県芸術文化スポーツ振興課芸術文化振興班主幹(総括)	宮添 春彦
〃	大分県民芸術文化祭実行委員会事務局長	清田 寛

第22回大分県民芸術文化祭記録集

令和3年3月31日発行

【編集・発行】

大分県民芸術文化祭実行委員会

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター B1F

NPO法人大分県芸術文化振興会議内

TEL 097-536-0522 FAX 097-536-6188
